

## 児童労働にレッドカード ユースが変える 売られる子どもたちの今

03・06・12 東京・UNハウスにて

<<< ワークショップ >>>

参加資格は「25歳くらいまで」。高校生、大学生を中心に、中学生、小学生も参加。学校帰りに寄った子もいれば、九州から来た子もいた。

### 【劇上演】

(児童労働の問題を劇に仕立て、会場の参加者に投げかける。演じるのはプロの役者)

みなさん、こんにちは。私は商人です。東南アジアのある国の話をしましょう。

ターリちゃん。この女の子は毎日、家の仕事をしています。学校には行っていません。

彼女には、お兄ちゃんがいます。お兄ちゃんは学校に行っています。

この社会では、それがふつうのこと。家族も、おかしいとは思っていません。

会場のみなさんは、ターリちゃんを可哀想と思う？ 思うでしょう。でも、ターリちゃんは嫌がっていないんです。というよりは、家族のために働いていることを誇りに思っています。今日もお洗濯。洗濯機を買うおカネは、ありません。

ある日、家にテレビが届きました。みんな、大喜び。

知らない男の人が立っています。お母さんは、ターリちゃんに言って聞かせました。

「今日から、この人のところで働くんだよ」

「都会に行けるよ。都会は、何でもあるよ～」と、その人は誘いかけ、

気丈にも、ターリちゃんは「私、がんばるね」と、家を出ました。ターリちゃんがテレビの代金だったのです。

会場のみなさん。ここまでの問題点を考えてみましょう。どうですか？

(会場より)「子どもをテレビの代金にしてはいけないと思う」

しかし、それを悪いと思っていないんです、この人たちは。悪いと思っていない国があるんです！ターリちゃんは、どこに連れていかれたのでしょうか。

.....

一見して夜の商売とわかるおネエさん。その横で、怖い顔をして立っている、店の用心棒と思われる屈強なおニイさん。ここで、ターリちゃんは、売春をさせられていました。

「もう、いや！」「いつまで、そんなこと言ってんだよ！」おネエさんと取っ組み合いに。おネエさんには、かつての自分が重なったのでしょうか。

.....

その後、ターリちゃんは保護され、社会復帰のリハビリを受けました。そして、NGOのスタッフとなったのです。

「子どもが売られ、絶望する社会は、正常ではありません。子どもは守られなければなりません。あなたが変えてください！」

### 【グループ・ディスカッション】

劇をもとに討論。児童労働が起こる「原因」を見つけ、それを無くすための「対策」を考

えて、自分たちができることの「行動計画」を立てていく。意見を出し合うのに<知識>で困ったら、ILO や NGO のスタッフが、お助け要員として 3 人控えている。

1 つのグループは 6~8 人ほど。「サルに似ている です」「サルに似ている さんの隣の犬に似ている です」と自己紹介のゲームをしていって、緊張をほぐしながら、お互いの名前を覚えていく。

最初は、声の小さい人がけっこう多く、聞き取りづらい部分もあった。人の意見に触発されて、意見が出てくる。

話し合いの断片を拾うと

「日本では小遣い稼ぎでバイトするけど、外国では生きていくためだと分かった」

「勘違いをしていた。嫌々、働きに行くのかと思っていた。そうじゃなかった」

「ウソをついたり、騙したりして連れて行った。ウソとお母さんが知っていたら、子どもを売っただろうか。無知につけこんでいる。親への情報提供が大事」

「先進国の人間が、暇が増えたから、こんなことをするんじゃないの」

キーワードとして出てきたのは、無知、貧困、買春の需要、人権意識、教育など。劇では、買春をする側は登場しなかったが、討論の場では出ていた。

### 【グループ発表】

**[原因]**経済格差、女性差別、**[対策]**メディアが重要、**[アクションプラン]**1日に1人以上の人に、児童労働について知らせる。

**[原因]**子どもが学べる環境がない、貧困、差別、**[対策]**世界に知ってもらう、大人に教育、学校を作る、**[AP]**アンチ児童労働フェスティバル 子どもの願いを大人に！を開催

**[原因]**他と同じ、**[対策]**フェアトレード、**[AP]**キムタク大作戦 メディアを使って買春撲滅

**[原因]**教育、貧困、先進国から買いに来ること、**[対策]**子どもの教育、先進国にストップさせるための啓発、政府の改革、大人に職業訓練、仕事を提供、**[AP]**構造改革

**[原因]**女性の地位、**[対策]**教育（途上国、先進国）、**[AP]**心のチェーンメールを皆さん一緒にやりましょう！

**[原因]**子どもを親の所有物と思っている、**[対策]**職業訓練、仕事の間、**[AP]**プロジェクトを起こし、NGO などとともに作っていく

**[原因]**貧困、親が子どもを売る習慣、一番いけないのは需要があること、**[AP]**TBS で番組を作って欲しい

**[原因]**貧困、女性差別、自分も原因に関わっているのに先進国が無関心、**[対策]**現地をよく知ること、**[AP]**奨学金

**[原因]**、**[対策]**、**[AP]**メディアを利用

**[原因]**教育、**[対策]**ユニセフ、ILO などが動いて、**[AP]**

**[原因]**、**[対策]**、**[AP]**メディアを使う、高校の授業参観で扱う

**[原因]**、**[対策]**、**[AP]**親子そろって青空教室、現地の人と劇をする

**【原因】、【対策】、【AP】**「世界を担う子どもたち。自転車で GO!GO!GO!」、旗を立てて走るとみんなが見てくれる

**【原因】**価値観の違い、 **【対策】**教育、 **【AP】**まず知ること、TV を使って知らせる。学校でも知らせる。人身売買の悲しいことを伝える。私たちも「幸せは何か、考えてみる」

### **【インタビュー】**

ファシリテーター

Q：難しい仕事ですね。

A1：でも、みんな、それなりの意識と知識を持っていたり、こういう場に慣れている子が来ているから、すごく大変ということではないです。

A2：意見が出ないと、つい、こっちが言いたくなっちゃうけど、じっと我慢。

お助け隊の NGO スタッフ

Q：どうでしたか？

A：今回は、とても短い時間でやったけど、ほんとはね、もっと時間をとってやらないと。以前は合宿してやったのよ。

高校の先生に

Q：「子どもの権利を教えると、わがままになる」と言う人がいます。

A：そう言う人はいます。でも、むしろ、権利のことを学ぶと、ほかの子どもの権利も考えるようになっていきます。

Q：今の子どもたちは、色々と問題が指摘されますが、どうでしょう？

A：ぼくらの頃は、自分のことしか考えていなかった。それに対して、ずっと関心を広げていると思います。

Q：ある中学校の先生は、「生徒の生活指導で手一杯。子どもの権利を議論するとか、そんなレベルじゃない」と言っていました。どうでしょう。

A：その気持ちはわからないじゃありません。私たちの学校でも、最初、関心を持っていた生徒は少なかった。でも、だんだん増えていきました。何もしないで諦めることは、教育とはいえません」

(当日ボランティアの方が記録してくださったものを掲載させていただいています。)